

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	アーケース1キロ粒剤
製品コード	AK5106J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所: 04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所: 04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(除草剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分1B
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	水生環境急性有害性	区分1

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 H350 発がんのおそれ  
 H370 呼吸器系の障害  
 H372 長期にわたるまたは反復暴露による呼吸器系、腎障害  
 H400 水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

【安全対策】  
 P201 使用前に取り扱い説明書を手すること。  
 P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P280 保護手袋を着用すること。  
 P281 指定された個人用保護具を着用すること。  
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

- P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 P261 粉塵等の吸入を避けること。  
 P273 必要な時外は環境への放出は避けること。

## 【応急措置】

- P308+P313 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。  
 P307+P311 暴露した場合、医師に連絡すること。  
 P314 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 P391 漏出物を回収すること。  
 P302+P352 皮膚についた場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 P333+P352 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 P362+P364 汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯をすること。

## 【保管】

- P405 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- P501 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別  
成分及び含有量

## 混合物

## [有効成分1]

化学名又は一般名

1-アミノ-3-クロロ-1,4-ナフトキノ  
(一般名 ACNまたはキノクラミン)

分子式(分子量)

C10H6ClNO2

CAS番号:

2797-51-5

官報公示整理番号

化審法: (4)-390

(化審法・安衛法)

安衛法: -

濃度又は濃度範囲

9.0%

## [有効成分2]

化学名又は一般名

2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド  
(一般名 ブタクロール)

分子式(分子量)

C17H26ClNO2

CAS番号:

23184-66-9

官報公示整理番号

化審法: -

(化審法・安衛法)

安衛法: -

濃度又は濃度範囲

7.5%

## [その他成分1]

化学名又は一般名

結晶質シリカ (石英)

CAS番号:

14808-60-7

官報公示整理番号

化審法: (1)-548

(化審法・安衛法)

安衛法: 第57条の2(通知対象物質)

濃度又は濃度範囲

&lt;32%

## [その他成分2]

化学名又は一般名

鉍物質微粉等

濃度又は濃度範囲

&gt;51.5%

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢

皮膚に付着した場合	で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。 汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

## 5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。 風上から作業し、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	注意事項 安全取扱い注意事項	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。 粉塵等を吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	保管条件	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
	容器包装材料	施錠して保管すること。 データなし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 管理濃度 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産衛学会(2009年版) ACGIH(2010年版)	粉塵が発生する場合、局所排気装置を設置すること。 設定されていない。  吸入性結晶質シリカ 0.03mg/m <sup>3</sup> TWA 0.025mg/m <sup>3</sup> (石英)
---	---

<p><b>保護具</b></p> <p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p> <p><b>衛生対策</b></p>	<p>適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。 適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。 適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。 適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
--	--

### 9. 物理的及び化学的性質

<p>物理的状態</p> <p>形状 色 臭い pH</p> <p>比重(密度)</p>	<p>細粒 黄赤色 無臭 9.74 1.01 g/cm<sup>3</sup> (見かけ比重)</p>
--	---

### 10. 安定性及び反応性

<p>安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の条件下では安定。 通常の条件下では安定。 データなし データなし 通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。</p>
--	--

### 11. 有害性情報

<p>急性毒性 経口 経皮 皮膚腐食性・刺激性</p> <p>眼に対する重篤な損傷・刺激性</p> <p>呼吸器感受性又は皮膚感受性</p> <p>発がん性</p> <p>特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)</p> <p>特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)</p>	<p>ラット経口LD50 &gt;2000 mg/kgに基づき、区分外とした。 ラット経皮LD50 &gt;2000 mg/kgに基づき、区分外とした。 ウサギにおいて刺激性が認められたが、軽微であったため区分外とした。 ウサギにおいて刺激性が認められなかったことから区分外とした。 皮膚感受性: モルモットに軽度の皮膚感受性がみられたことから、区分1Bとした。 区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分1Aとした。 区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。 区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。</p>
--	---

### 12. 環境影響情報

<p>水生環境急性有害性</p>	<p>コイ96時間LC50値4.59mg/L、ミジンコ48時間EC50値14.1mg/L、藻類EC50値0.0494mg/Lより、区分1とした。</p>
------------------	--

### 13. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
------------------------------	---

### 14. 輸送上の注意

<p>国際規制 海上規制情報 UNNo. Proper Shipping Name</p>	<p>IMOの規定に従う。 3077 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.</p>
---	--

Class	9
Packaging group	III
Marine Pollutant	yes
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UNNo.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.
Class	9
Packaging group	III
国内規制	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質含有(ブタクロール:1-376)
毒物及び劇物取締法	該当しない。
労働安全衛生法	第57条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(政令番号312)
農薬取締法	第21835号

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。

処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。